

あなたの街の洪水・内水ハザードマップ (避難所マップ) 港区版



ハザードマップ作成の目的
平成12年の東海豪雨や平成20年8月末豪雨を始め、近年、河川や下水道の能力を超える大雨により浸水被害の発生する可能性が高まっています。浸水被害を最小限にするために、「洪水・内水ハザードマップ」を活用いただき、あなたの住んでいる街がどの程度浸水するかを把握して、いざという時の避難行動について家族であらかじめ話し合っておくこと、日ごろから災害に備えてください。

お問い合わせ先はこちらへ
名古屋市消防局防災防犯室
電話 052-972-3523
FAX 052-962-4030
メール
88bosaikaku@fd.cty.nagoya.lg.jp
http://www.cty.nagoya.jp/ハザードマップ 検索

1 浸水発生時のメカニズム



内水はん濫

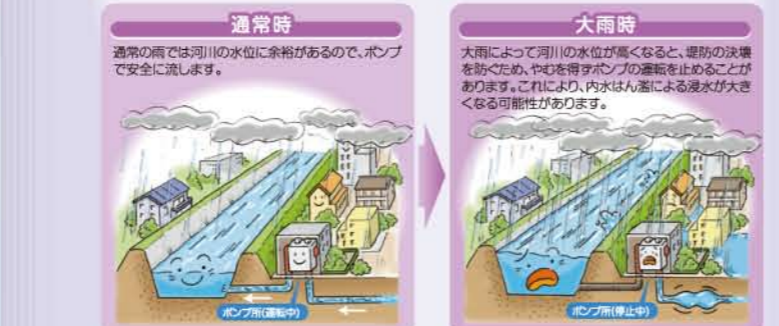
雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えるとき、河川の水位が高くなると、雨水を排水できなくなり、浸水することがあります。このような現象を「内水はん濫」といいます。ご自宅周辺の堤防に亀裂が生じたり、水が噴出している場合は、堤防が決壊する恐れがありますので注意が必要です。

洪水(外水はん濫)

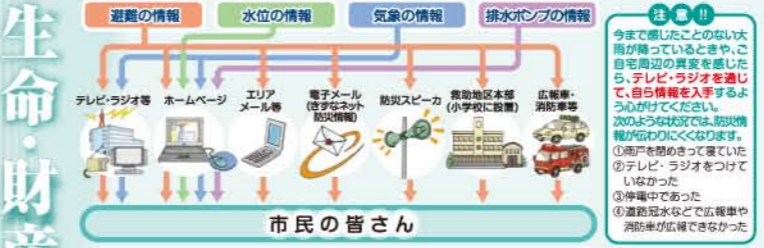
大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。このような現象を「洪水(外水はん濫)」といいます。ご自宅周辺の堤防に亀裂が生じたり、水が噴出している場合は、堤防が決壊する恐れがありますので注意が必要です。

排水ポンプの運転調整(ポンプ排水を停止する場合)

通常時は、河川の水位に余裕があるので、ポンプで安全に流します。大雨時は、河川の水位が高くなると、堤防の決壊を防ぐため、やむを得ずポンプの運転を止めることがあります。これにより、内水はん濫による浸水が大きくなる可能性があります。



2 防災情報の伝わり方



情報の取寄せ先

避難の情報	水位の情報	気象の情報	排水ポンプの情報
「名古屋市公式ウェブサイト」 http://www.city.nagoya.jp/	「国土交通省 庄内川河川事務所」 http://www.shonai-gwa.go.jp/web/	「気象庁」 http://www.weather.go.jp/	「上下水道局ホームページ」 http://www.water.cty.nagoya.jp/

避難の準備

避難の準備は、避難の危険が予測される前に、避難場所を確認し、避難経路を確認することです。また、避難の準備は、避難の危険が予測される前に、避難場所を確認し、避難経路を確認することです。

避難の注意

避難の際は、避難の危険が予測される前に、避難場所を確認し、避難経路を確認することです。また、避難の際は、避難の危険が予測される前に、避難場所を確認し、避難経路を確認することです。

水位の情報

指定河川洪水情報	避難指示
はん濫発生情報	はん濫が発生したときに発表される情報
はん濫危険情報	1 はん濫危険水位
はん濫警戒情報	2 避難判断水位
はん濫注意情報	3 はん濫注意水位
	4 水防団待機水位
	通常水位

気象の情報

特に注意が必要な気象情報

大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報	土砂災害警戒区域
大雨が降り続く恐れがある	大雨が降り続く恐れがある	土砂災害警戒区域に指定されている	土砂災害警戒区域に指定されている

雨の強さと降り方

雨の強さ	降り方	被害
10mm以下	弱い雨	被害は少ない
10mm以上	強い雨	被害は多い
30mm以上	非常に強い雨	被害は多い
50mm以上	非常に強い雨	被害は多い
80mm以上	非常に強い雨	被害は多い

風の強さと吹き方

風速	吹き方	被害
10~15%弱	やや強い風	被害は少ない
15~20%弱	強い風	被害は多い
20~25%弱	非常に強い風	被害は多い
25~30%弱	非常に強い風	被害は多い
30%以上	猛烈な風	被害は多い

排水ポンプの情報

上下水道局ホームページの雨水(あまみず)情報より、お住まいの地域の排水ポンプの運転状況をご確認ください。

項目	名称	所在地	電話番号
我が家の避難場所			
家族の名前	連絡先	電話番号	メモ

3 避難行動の目安

浸水に対して

内水はん濫や河川洪水の避難の情報が発表された場合は、浸水発生直下の図を参考に、適切な行動をとってください。

土砂災害に対して

土砂災害の避難の情報が発表された場合は、裏面マップの土砂災害危険箇所等(●)の区域外へ避難してください。

簡易水防工法の例



特に注意が必要な場所

- 地下室: 大雨の時は地下室は危険です。浸水の危険があるときは、早めに避難しましょう。
- アンダーパス: 鉄道の地下、路面が低くなっている部分は、水がたまる恐れがあります。大雨のときは十分の注意を心がけてください。
- 川の中: こんなときは川に近づかないようにしましょう。川の水が急げるときは、川が濁ってきたとき、急に音が響くとき、川が閉じたとき、上流が堰で堰切られるから、濁る。
- 土砂災害危険箇所等: 裏面マップの土砂災害危険箇所等を、参照してください。



4 大切な日ごろからの備え

浸水を防止するために

雨水の上部にたまったごみや落ち葉の清掃にご協力をお願いします。

長期の避難に備えるために

避難時の持ち出し品を準備しておきましょう。

非常持出品・備蓄品チェックリスト

備蓄品	非常持出品
防災用品: 防水用品、ヘルメット、燃料、手電筒、懐中電灯、ラジオ、携帯トイレ	防災用品: 携帯ラジオ、ヘルメット、燃料、手電筒、懐中電灯、ラジオ、携帯トイレ

我が家の防災メモ

項目	名称	所在地	電話番号
我が家の避難場所			
家族の名前	連絡先	電話番号	メモ

もしもの時の連絡方法

「災害用伝言ダイヤル171」の活用
「災害用伝言板サービス」の活用

災害時連絡先・情報入手先一覧

機関	電話番号	ウェブサイト
港区役所(区本部)	654-9611~6	http://www.kotsu.city.nagoya.jp/
中部電力営業所	0120-985-711	http://www.aonamline.co.jp/
港消防署	661-0119	http://jr-central.co.jp/
港土木事務所	661-1581	http://www.meitetsu.co.jp/
近畿日本鉄道	113	http://www.kintetsu.co.jp/
日本道路交通情報センター	661-5226	http://www.jartc.or.jp/